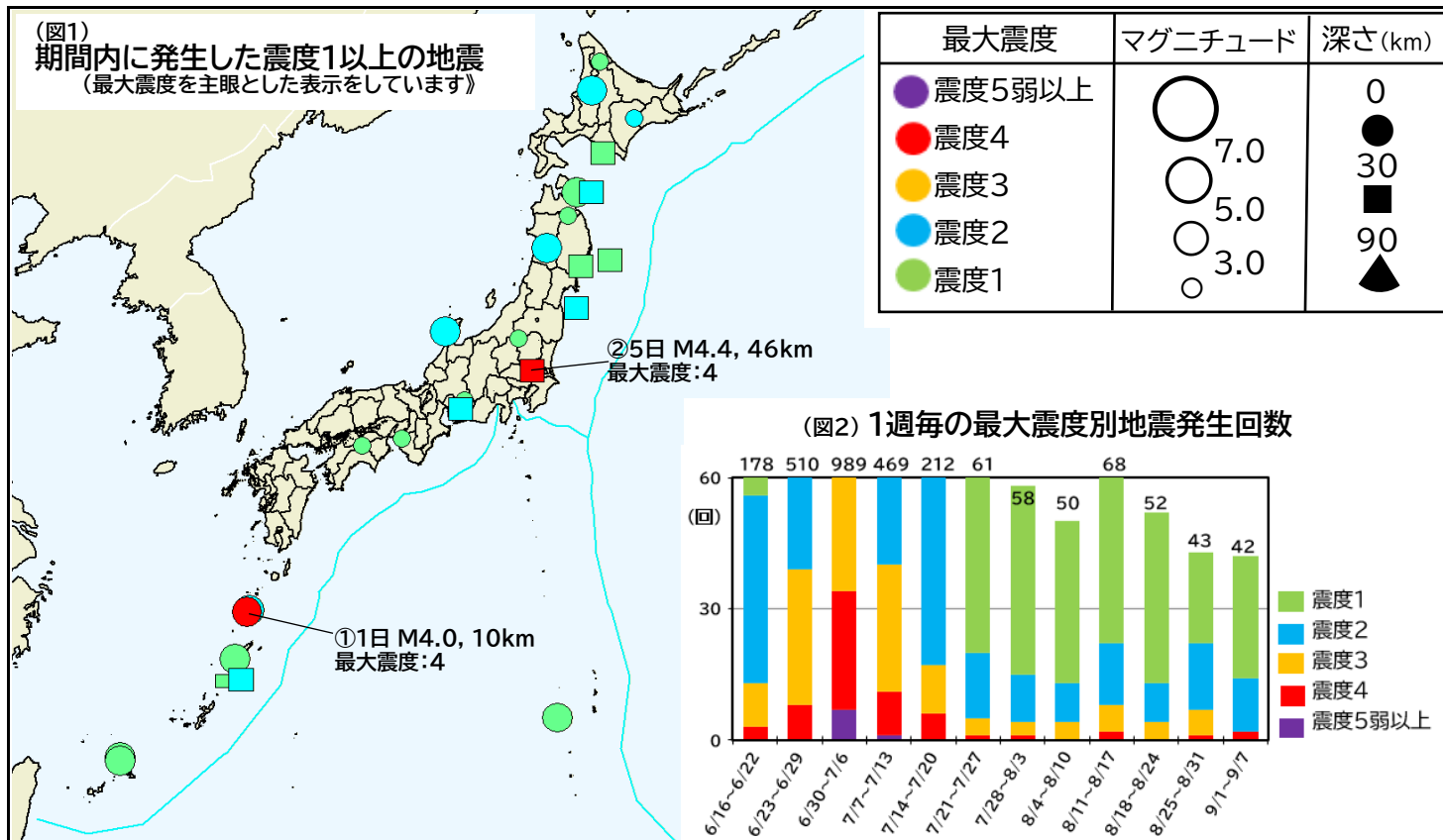


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が42回発生。最大震度は4 ■

- ①9月1日15時30分にトカラ列島近海で発生した地震(M4.0、深さ10km)により、鹿児島県十島村悪石島で震度4を観測(震度1以上を観測したのは、この地点のみ)。
- ②9月5日21時00分に茨城県南部で発生した地震(M4.4、深さ46km)により、栃木県下野市で震度4を観測したほか、栃木県宇都宮市・栃木市など、茨城県笠間市・古河市・坂東市などで震度3を観測するなど、福島県から関東地方にかけて震度3~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 茨城県南部の地震活動 ■

- ・茨城県は陸のプレートの下にフィリピン海プレートと太平洋プレートの2つのプレートが重なり合うように沈み込んでいる複雑な地下構造となっており地震活動が活発な地域です。
- ・複雑な地下構造であるため地震が発生する場所は、陸のプレートやフィリピン海プレート等のプレート内部で発生するもの、それぞれのプレート境界で発生するもの等多様です。
- ・地震の発生場所をよく見ると、北北西-南南東に並ぶ2列の地震群に分かれて発生している様子が見られます(図3の緑破線)。
- ・その一つは西の鬼怒川側(深さ40~60km、もう一つは東の筑波山側(深さ50~80km)の地震群です(図3、図4参照)。
- ・9月5日に茨城県南部で発生した地震(M4.4、深さ46km、最大震度4)は、西の鬼怒川側で発生したもので、震源の深さや発生の仕方からフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震と推定されます。
- ・この西側の地震群で発生した最近の地震としては、2016年5月16日のM5.5、深さ42km、最大震度5弱、2024年3月21日のM5.3、深さ46km、最大震度5弱などがあり、M5程度の地震がしばしば発生しています。

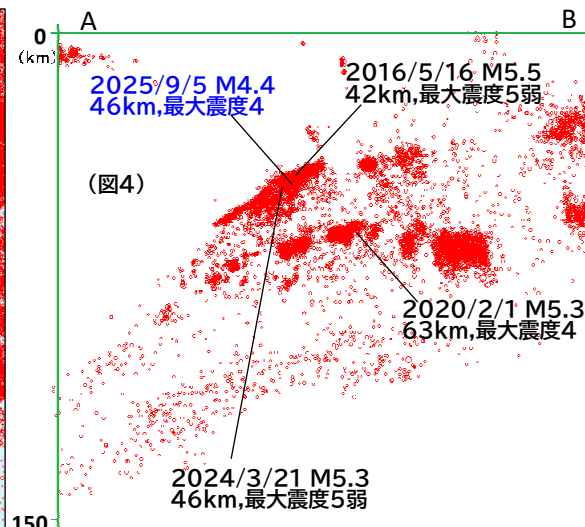
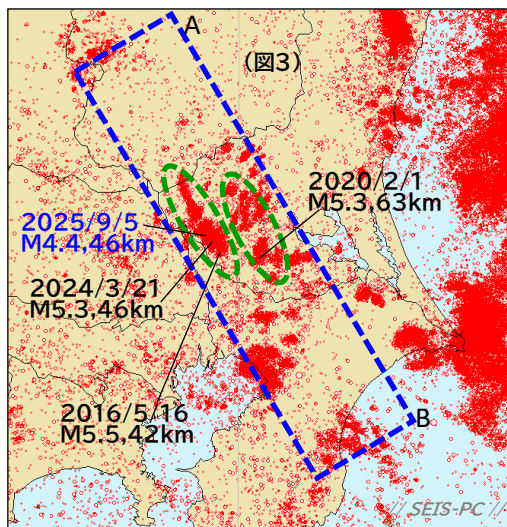


図3:震央分布図 1997/10/1 --- 2025/9/6 M $\geq$ 2.0

図4:図3の青破線内の断面図